

平成29年5月9日
東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

標 題 奥出雲産直振興推進協議会総会開催される

(ダイジェスト)

平成29年4月27日(木)、奥出雲産直振興推進協議会(事務局:JA雲南、会員数2,971名)の平成28年度総会がJAしまね雲南地区本部で開催されました。安全安心につながる産直GAPに取り組み、消費者への情報提供の強化と魅力ある店舗づくりをすすめることが決議されました。

奥出雲産直振興推進協議会は、雲南地域の22(雲南市10、奥出雲町6、飯南町3、都商店舗3)の産直組織(直売所)で構成され、生産、販売、PR、研修活動に取り組んでいます。

昨年度実績の報告では、松江尾道線の開通、近隣消費者マーケットの変化(ディスカウントショップ・産直インショップ等の増加)による環境要因や、天候不順による野菜出荷量の減少などにより、販売額の前年比が96.5%と、設立以来はじめてマイナスになりました。

今年度は、多様化する消費者ニーズに対応するため、「安全・安心」で「生産者の顔の見える」取り組みをすすめることとし、生産履歴・トレーサビリティを徹底し、産直GAPや新たな情報提供の仕組みづくりに取り組むことが決まりました。

また、今回は、本協議会設立後初めての会長交代があり、長年会長を務められた井上静子氏(雲南市木次町)から木村晴貞氏(雲南市吉田町)にバトンタッチされました。

新会長の木村氏から、「めまぐるしい移り変わりの中で活性化を図り、6次産業化の元となる1次部門でしっかり生産し、2次・3次部門でサポートし、経営として成り立つよう前向きに取り組んでいきましょう。」との抱負がありました。新体制での今後の活躍が期待されます。

